

特別区全国連携プロジェクト



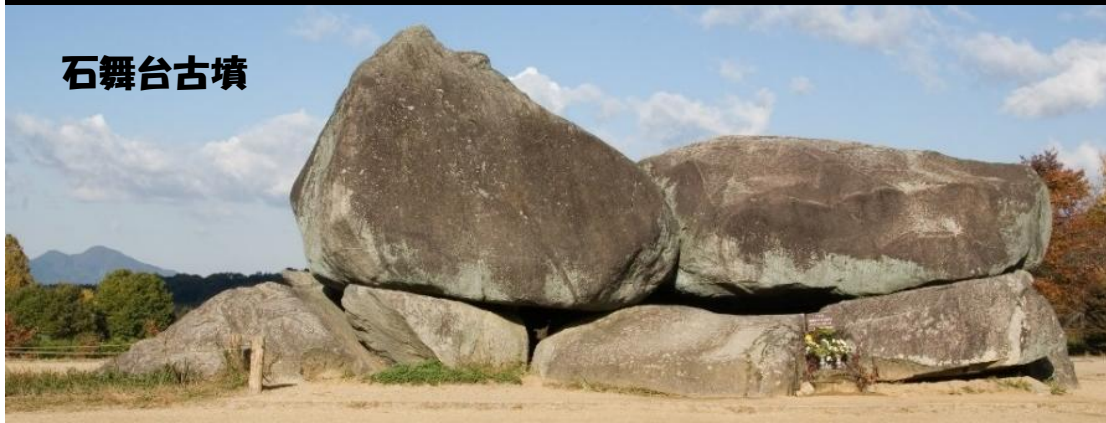
飛鳥寺イメージ

古都飛鳥保存財団より資料提供

伎楽 行道

「世界遺産の連なる奈良から問う、地方自治の未来」
～「飛鳥・藤原の宮都」登録を好機に～
2026. 8. 17 奈良県町村会／明日香村 森川裕一

石舞台古墳



1. 「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録

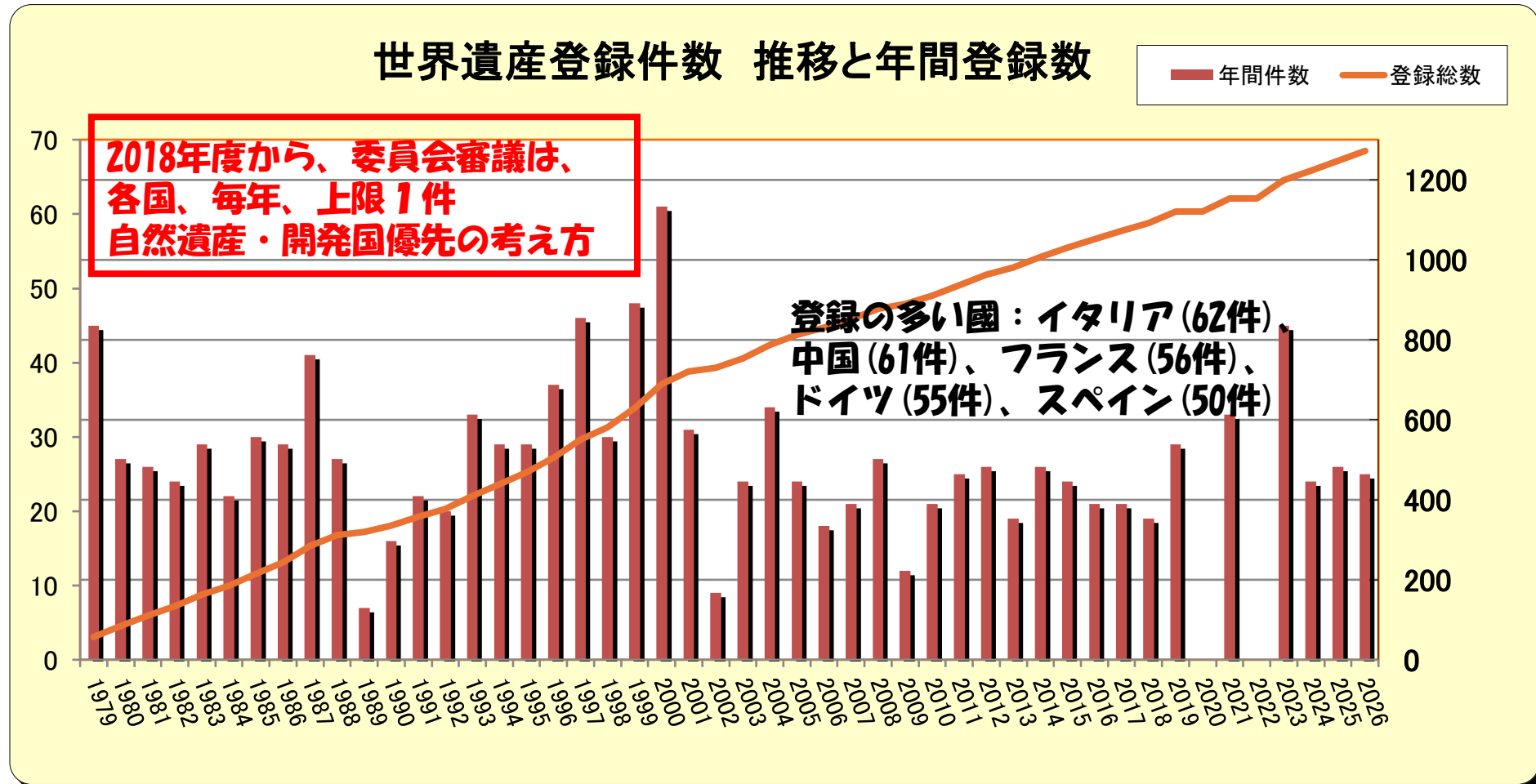
2. 飛鳥の謎を解く

- I. 飛鳥と明日香 II. 飛鳥から国づくり
- III. 国づくり始まり IV. 東アジア初の女帝
- V. 遣隋使の贈り物 VI. 聖徳太子、斑鳩へ
- VII. 皇極帝が斉明帝に重祚
- VIII. 天武帝は天智帝の同母弟
- IX. 持統帝と天武帝の絆 X. 天皇の八角形墳
- XI. 極彩色の古墳壁画 XII. 不思議な都づくり

3. 未来像／明日香まると博物館

「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録

2026年7月末現在 1,273件（文化遺産991件、自然遺産240件、複合遺産42件）



2026.7 第48回世界遺産委員会@韓国 新規登録25件（日本：1件 飛鳥・藤原の宮都）

2026.7月末現在 危機遺産58件(今回危機リスト6件(うち緊急登録3件)、危機除外1件)

登録済の資産（文化遺産） 22 件

法隆寺地域の仏教建造物	(1993)	富士山 信仰の対象と芸術の源泉	(2013)
姫路城	(1993)	富岡製糸場と絹産業資産群	(2014)
古都京都の文化財	(1993)	明治日本の産業革命遺産	
白川郷・五箇山の合掌造り集落	(1995)	製鉄・製鋼、造船、石炭産業	(2015)
原爆ドーム	(1996)	ル・コルビュジエの建築作品	
厳島神社	(1996)	(国立西洋美術館)	(2016)
古都奈良の文化財	(1998)	神宿る島 宗像・沖ノ島と関連遺産群	(2017)
日光の社寺	(1999)	長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産	(2018)
琉球王朝のグスク及び関連資産群	(1999)	百舌鳥・古市古墳群	(2019)
紀伊山地の霊場と参詣道	(2004)	北海道・北東北の縄文遺跡群	(2021)
石見銀山遺跡とその文化的景観	(2004)	佐渡島の金山	(2024.7.27)
平泉－仏国土（浄土）を表す建築・庭園			
及び考古学的遺跡群－	(2011)		

飛鳥・藤原の宮都(2026.7.26)

⇒2007 暫定リスト記載

2022.6 推薦書素案、2024.4 再推薦書素案

日本の世界遺産は計27件に

暫定資産(推薦準備中) 4 件

古都鎌倉の寺院・寺社ほか	(1992)	平泉（拡大）	(2012)
彦根城	(1992)		



「日本」という国の始まりの地

東アジア東端の日本列島において、初めて中央集権国家が誕生したことを示す資産

評価基準（ii）

中国や朝鮮半島との国際交流によって国の仕組みが整い、新たな文化が花開いた



評価基準（iii）

国の中心＝首都ができあがっていく様子が、遺跡として地下に残されている

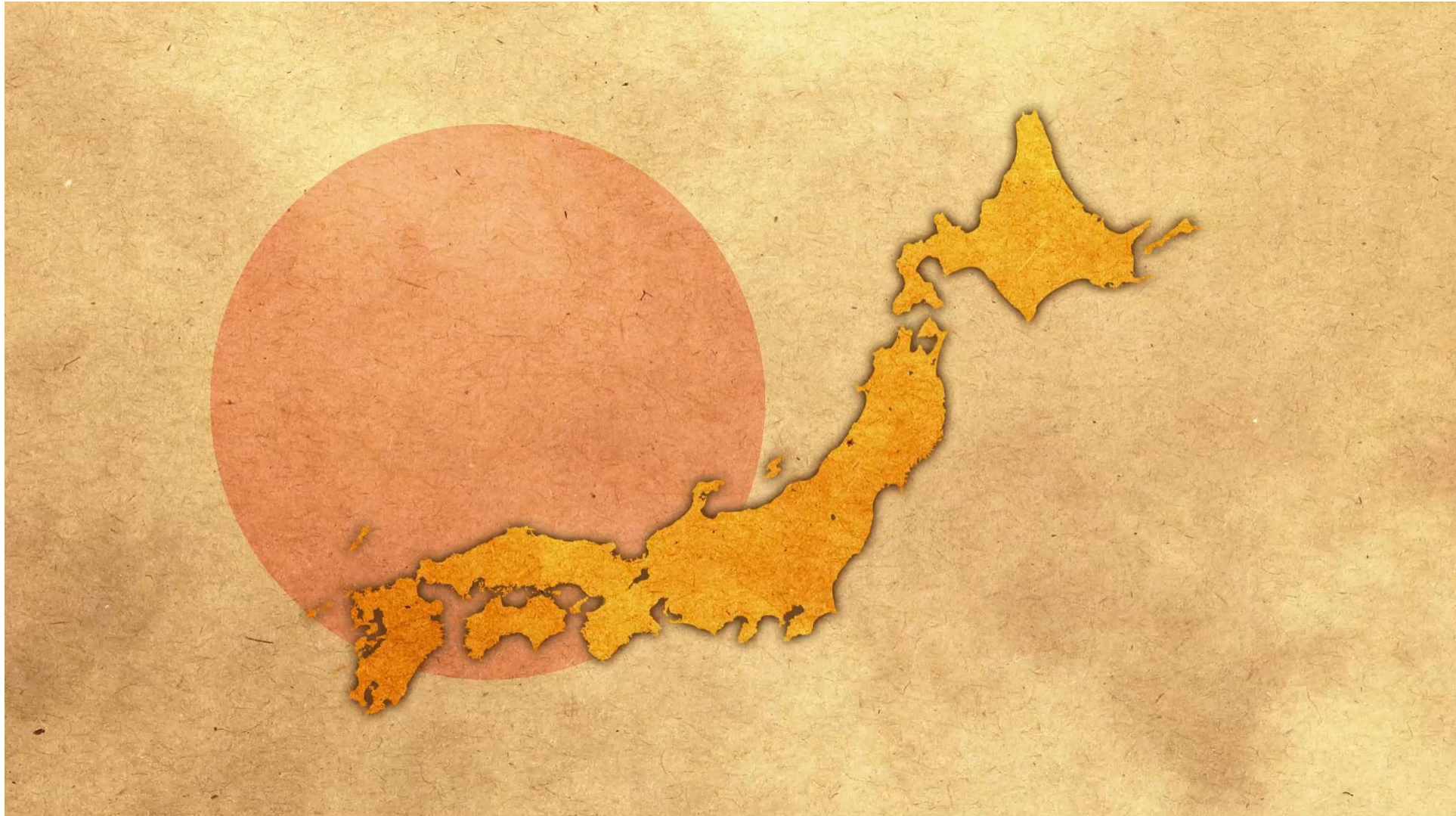




	飛 鳥 西暦593～693年	藤 原 西暦694～710年
宮跡 「律令制度」に基づく 儀式/政治/行政の仕組み が整ったことを示す	1.飛鳥宮跡 2.飛鳥京跡苑池 3.飛鳥水落遺跡 4.酒船石遺跡	13.藤原宮跡
仏教寺院跡 仏教が広まり、中央集権国 家の象徴となったことを示す	5.飛鳥寺跡・7.山田寺跡 8.川原寺跡・6.橘寺境内 9.檜隈寺跡	14.大官大寺跡 15.本薬師寺跡
墳墓 天皇を頂点とする国家の墓 制を示す 参考：赤文字は明日香村内	10.石舞台古墳 12.牽牛子塚古墳 11.菖蒲池古墳	16.天武・持統天皇陵 17.中尾山古墳 18.キトラ古墳 19.高松塚古墳

構成資産は19箇所のうち、明日香村内15箇所 !!

祝！「飛鳥・藤原の宮都」世界文化遺産登録



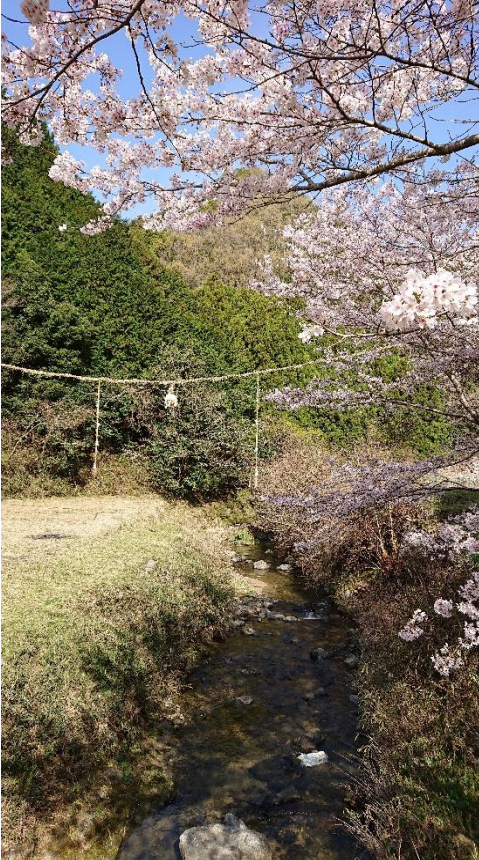
□ 日本国創生のとき／世界の大交流時代

技術・文化・制度の受容
と 日本独自の付加



○ 6世紀 仏教興隆の流れ／南梁⇒百済・高句麗⇒倭

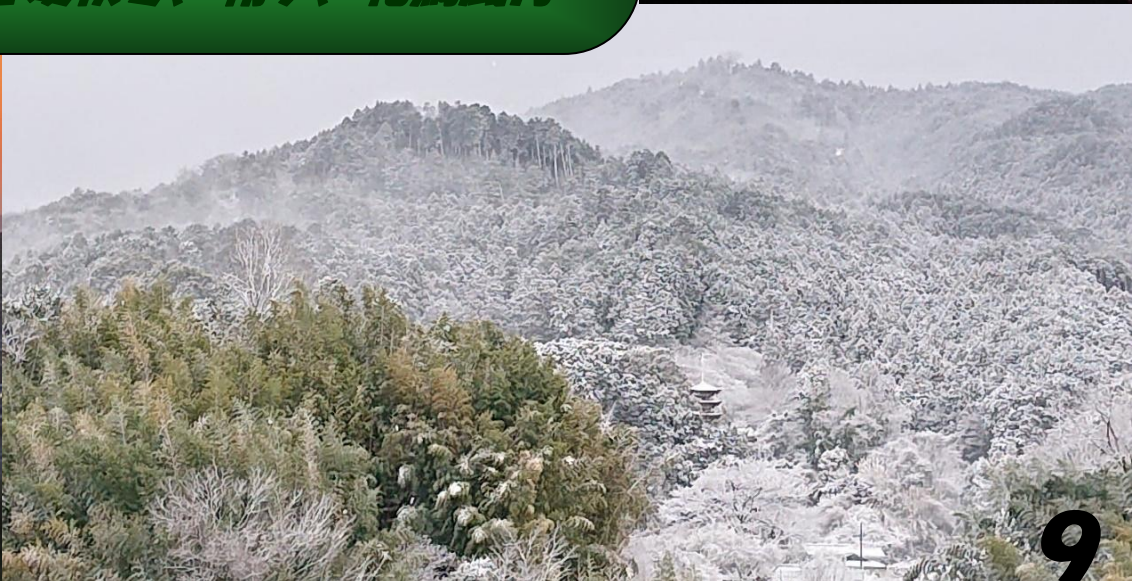




ほっとする、パワーを感じる
／日本の豊かで荒ぶる自然
飛鳥は人々との共生の地

地震、台風、津波、火山…

四季：春夏秋冬、朝夕、花鳥風月



○ 明日香村特別措置法

景観規制の効果は 30、40年後！

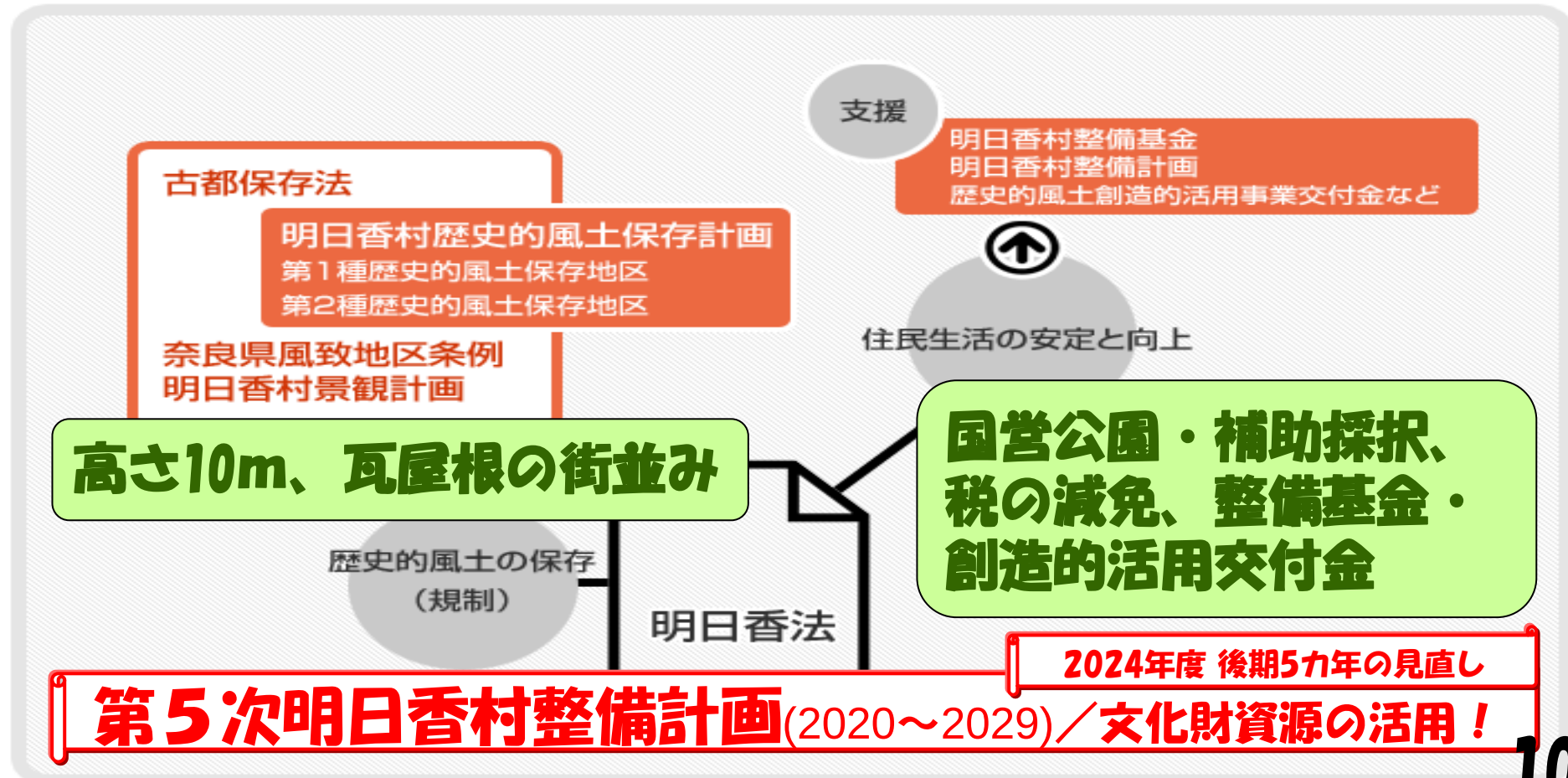
1970年1月1日 御井敬三氏の『声の直訴状』を佐藤栄作首相に

1970年5月 「飛鳥古京を守る議員連盟」が結成

1980年5月 歴史的風土の保存及び生活環境の整備等に関する

「明日香村特別措置法」公布

目 的／明日香村のかけがえのない風土を未来に向けて創造的に創世



2. 飛鳥の謎を解く

- Q I. 飛鳥と明日香 ……二つのアスカの違い
- Q II. 飛鳥から国づくり ……なぜ飛鳥で日本ができた？
- Q III. **国づくりの始まり** ……何が起こり日本ができた？
-
- Q IV. 東アジア初の女帝 ……なぜ女性天皇ができた？
- Q V. 遣隋使の贈り物 ……600年遣隋使の与えた影響
- Q VI. 聖徳太子、斑鳩へ ……なぜ斑鳩に居を移した？
- Q VII. 皇極帝が斉明帝に重祚 ……蘇我一族の背水の陣
- Q VIII. 天武帝は天智帝の同母弟 ……背水の陣の第二弾
- Q IX. **持統帝と天武帝の絆** ……母系のつながり
-
- Q X. 天皇の八角形墳 ……四方八方を統治 + 王家の丘
- Q XI. 極彩色の古墳壁画 ……唐文化への憧れ？
- Q XII. 不思議な都づくり ……正方位の大道、条坊、宮殿

謎Ⅲ 飛鳥の国づくり、始まりは？

○ 仏教の伝来(538)・興隆

仏教・・・生活のルール／五戒(殺生、偷盗、邪淫、妄語、飲酒)

僧侶・・・生活科学一般、漢方医療

寺院・・・大学的機能、建築・土木技術(ため池、橋梁)

○ 遣隋使(600～)、遣唐使(630～)

国づくり・・・国家組織、制度

都づくり・・・都、大道、建物、寺院、市場

手法／見学、書物、留学生

○飛鳥時代と朝鮮半島・隋唐交流

552、538年 百済より仏教公伝

593年～ 飛鳥時代

【飛鳥寺／仏教興隆】596年

聖徳太子～橘寺、十七条憲法

推古天皇～飛鳥大仏(丈六)

蘇我馬子～飛鳥寺、石舞台

600年 遣隋使(隋書)



645年

【大化の改新／乙巳の変

天智天皇と藤原鎌足

～槻木の広場

蘇我入鹿～首塚

668年以降

遣新羅使28回

670年以降遣唐使中断



【壬甲の乱】672年

天武天皇と持統天皇

～嶋宮、さららの道

持統天皇～藤原京遷都694



701年 朝賀の儀

702年 遣唐使復活

飛鳥時代

593～710年

女帝の時代

593年 推古天皇

629年 舒明天皇

642年 皇極天皇

645年 孝徳天皇

655年 斉明天皇

668年 天智天皇

672年 弘文天皇

672年 天武天皇

687年 持統天皇

697年 文武天皇

707年 元明天皇

○ 国際文化センター／飛鳥寺

推古帝



蘇我馬子 発願

古都飛鳥保存財団より資料提供

飛鳥寺（588年着手、596年完成）



奈文研より資料提供

塔の心礎に仏舎利

塔心礎 埋納品



飛鳥大仏
（609年制作）

飛鳥寺（法興寺）は
我が国最初の七堂伽藍を
備えた本格的寺院



1. 仏教の教えを説く宗教拠点
高句麗僧慧慈、百濟僧慧聡
2. 最新の知識が集う学問施設
3. 外来技術の結集された
高層建築

百濟から寺工2名、鑄盤博士1名、
瓦博士4名、画工1名が派遣



奈文研より資料提供

創建瓦（百濟瓦と酷似）

○遣隋使／日本国創生のはじまり

600 第1回遣隋使 隋の文帝 拝謁かなわず
理由：未熟な国、政(夜明け前に行う等)がお粗末
衝撃：使節は王都大興城や朝賀の儀等に驚愕
(隋書では、遣隋使を送ったのは‘多利思比孤’)

文明国をめざし、仏教を保護。
遣隋使で最新文化を学ぶが、
599地震の神の神祇、607「敬神の詔」等 伝統的な神祇も維持

603 政務・儀式の行える小墾田宮に遷宮
" 冠位十二階を制定
604 十七条憲法を制定
605 大仏建立の詔(鞍作止利に制作を)
" 諸王諸臣に櫛(ヒラオビ)を着せる
607 法隆寺(斑鳩寺)完成



607~608 第2回遣隋使

「日出ずる処の天子…」で煬帝が激怒
→答礼使裴世清→小野妹子返書紛失
＜隋と高句麗の関係＞

608 第3回遣隋使

小野妹子とともに高向玄理、南淵請安、僧旻など

→630 遣唐使船で帰国。
大化の改新に加わる。



推古21(613)年

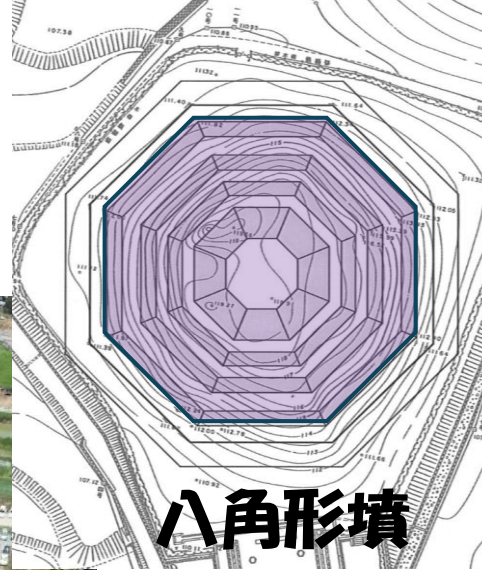
「難波より京に至る大道を置く」
⇒竹内街道、横大路

謎IX 持統帝と天武帝の絆は？

持統帝(うののさらら)の経歴／天武帝とともに生きる

- 持統帝の母、蘇我遠智娘は、蘇我倉山田石川麻呂の娘であり、天智帝の妻。美濃津子娘ともいう。父は乙巳の変(645)の時、従兄弟の入鹿でなく、中大兄皇子側に付いたにもかかわらず、謀反を密告されて自害(649)。(後に無実)に…) 母遠智娘は、病死へ。持統帝4歳で母親を亡くす。
(657) 大田・大江・新田部の姉妹とともに13歳で叔父大海人皇子に嫁ぐ。
(661) 父(中大兄)、夫(大海人)とともに斉明帝に随行して九州へ行き、翌年、筑紫国那大津で草壁皇子を出産。
(667) 姉大田皇女が亡くなり、最も身分の高い妻となる。
(671) 壬申の乱の前、大海人皇子吉野隠棲時、妻の中で1人草壁の皇子とともに連れ従った。

○ 天武持統天皇陵 ／野口王墓 大内陵



薬師寺僧侶らによる天武天皇の法要

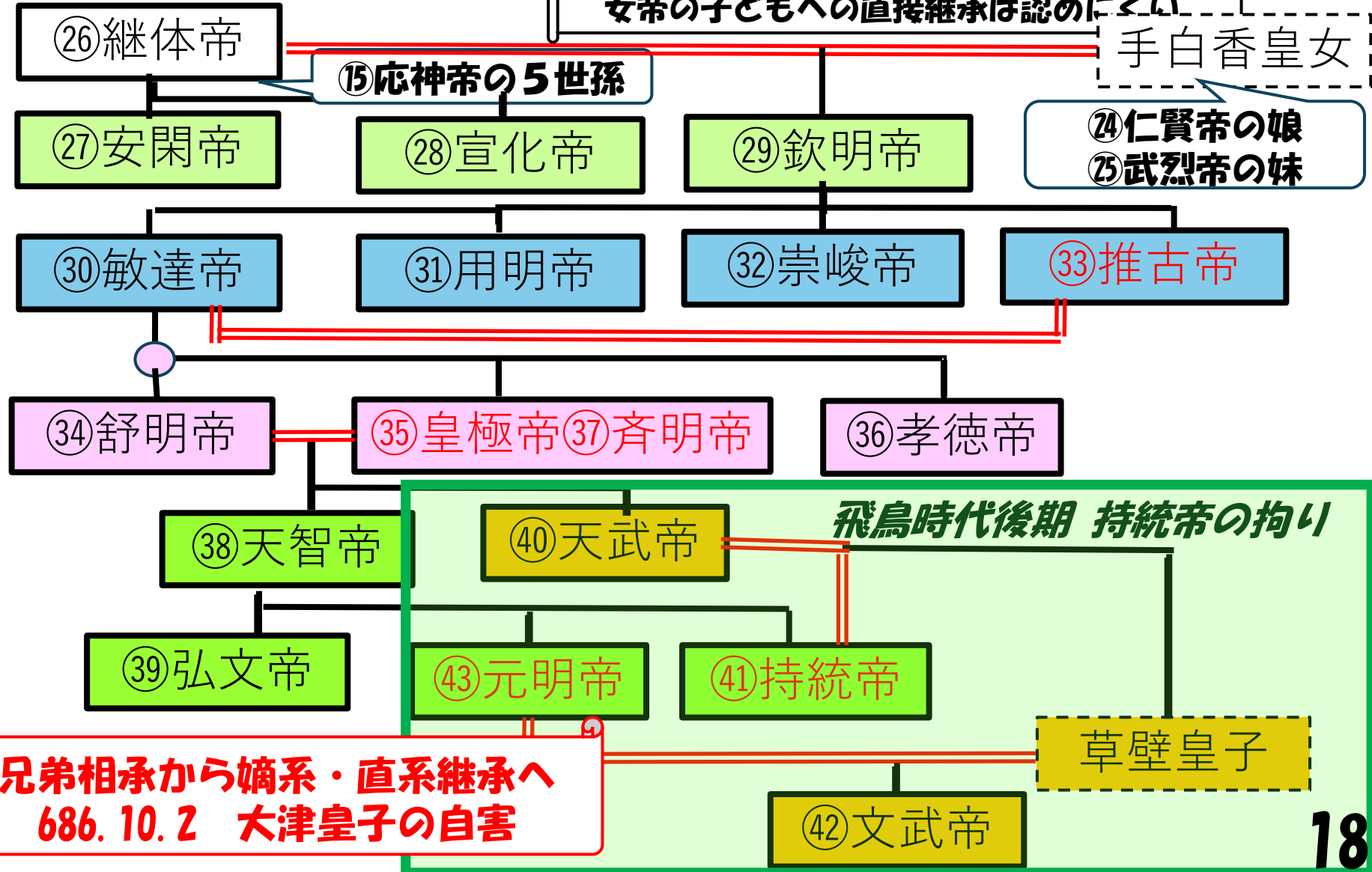
《阿不幾乃山稜記 (あおきのさんりょうき)》
1235年の盗賊の取調書物。
1880年高山寺で阿不幾乃山稜記
が発見され、
天武持統天
皇陵は見瀬
丸山古墳か
ら野口王墓
へ治定替え



■「文物の議、是に備われり」「藤原京」誕生

○ 天皇の皇位継承

新帝は30歳をすぎ、群臣の推挙されること
天皇と有力豪族の妃との皇子であること
女帝の子どもへの直接継承は認めにくい



Ⅲ. 明日香まるごと博物館づくり

飛鳥・藤原はなぜ
世界遺産登録を
めざすのか？

《明日香村が世界遺産登録を目指す理由》

期待する
メリット

世界への情報発信、地域ブランド“飛鳥”の獲得
UNESCOお墨付き効果による国内で“飛鳥”再評価
飛鳥住民の誇り拡大、観光関連業の発達

デメリット
対策

遺跡保存のための開発規制強化 ⇒ 現行明日香法で可能
過剰な観光客増大で生活環境の悪化 ⇒ 長期滞在型観光期待

新たな生活様式のもと新たな観光形態

《背景》 飛鳥で暮らし、飛鳥で働き続けるために

明日香法施行40年 《農村景観は守れたが、未来にどう継続していくか》

歴史的風土、埋蔵文化財は保全されたが、若者の村外流出により急速に過疎
が進行し、村の維持継続が困難に ⇒ 景観や文化財を活用した活性化へ

明日香まるごと博物館づくり 《2025目途に、歴史・自然を活かして地域再構築》

観光戦略・農業戦略の具体化により、見所、体験、宿泊、食事、土産を再編
高松塚古墳壁画館、キトラ古墳四神の館、飛鳥宮跡・京跡苑池整備等に目途
⇒ 歴史的風土活用型の特別な旅行商品づくり

● “明日香まるごと博物館づくり” の課題

I. 歴史文化観光は、地域の歴史を知っていることが前提。

史跡の多くは地中にあり、目視しにくい。分からない！

⇒保存強化型復元、画像や映像、AR・VR、ストーリー開発、伎楽 など

II. フィールドミュージアムは、天候、四季、寒暖差などに

左右され易く、通年利用されにくい。夏暑く、冬寒い！

⇒夜間・早朝体験の開発、宿泊地・夕食・ミュージアムの整備 など

III. 歴史文化型・屋外型の高付加価値観光（EX. グランド
ツーリズム？）は日本などでの成功事例は少ない？

⇒欧米来訪者の歴史観に対応したフロのガイドツアー など

IV. 明日香まるごと博物館づくりに成功しても、オーバーツ
ーリズムが発生すると予想。大都市圏内での対策は？

⇒駐車場の有料化・予約制、地域通貨の発行と変動制価格 など

V. 景観（街並み、農村風景、里山など）をどう守る？

⇒後継者、企業、2箇所居住、オーナー制度、獣害 など

明日香まるごと博物館づくり

世界遺産

飛鳥・藤原

ベストツーリズム
ビレッジ

伎楽、万葉集

感

体験

農作業、オーナー制度
ナイトツアー、ホーマラン、伎楽
フロガイド、森林浴、
発掘体験

泊

宿

民宿、教育旅行

B&B、ゲストハウス、ホム

グランジビラ・石舞台、

キトラ、弥栄、明日香の宿

星のや、祝戸荘

日本遺産

日本国創成、横大路、西国33カ所

食

食事処

地産地消、飛鳥鍋

オーベルジュ:

弥富、さらら

ガストロミ: ダテッラ

花井屋

買

お土産

直売所、飛鳥ブランド

チャレンジショップ

旅行商品開発、

飛鳥ブランド

観

元ところ

キトラ、無電柱化、牽牛子塚
古墳、飛鳥宮・苑池、中尾山
新高松塚古墳壁画、伎楽、
竹林、里山林

歴史と自然を五感で体感

目で見て／耳で聞き／鼻でかぎ／
手で触り／口で味わう

ただしオーバーツーリズム対策を

交通

電バス、乗合タクシー、
飛鳥タン、道路案内・制御
ET車、道路案内・制御
島庄・石舞台工区、
オーバーツーリズム・駐車場
道の駅飛鳥の拡張

巡り訪れる

つなぐ

商品化

フロガイド、

海外への情報発信、VR・AR技術、
インバウンド・高付加価値旅行商品づくり、
明日香まるごと共通券、観光DMOづくり

情報

知る

iセンター飛鳥、北・
光ファイバー、Wi-Fi網、
VR・AR、Cashless
DX、まるごと共通券

明日香まると博物館マップ 《拠点・施設編：短(太線)・中(実線)・長(破線)期》



村教委より資料提供

牽牛子塚古墳 2022.3.5 オープン
道の駅 飛鳥 2018.4 登録



飛鳥ナンバ
2020.5~ 交付



高松塚古墳壁画保存管理公開
活用施設 2029供用予定

星野リゾート
真弓地区 2027 開業予定
祝戸地区 改修設計中



長谷工/トランシエが「明日香」
2022.3.18 オープン
トランシエ石舞台テラス
2025.7.24 オープン



飛鳥宮跡、飛鳥京跡苑池
2030 イベント実施予定



新庁舎建設 2023.5.8 開庁
「飛鳥・藤原」の宮都
世界遺産登録
2026.7.26 登録

関西の世界文化遺産

近畿7番目の世界遺産登録！

法隆寺地域の仏教建造物	(1993)
姫路城	(1993)
古都京都の文化財	(1993)
古都奈良の文化財	(1998)
紀伊山地の霊場と参詣道	(2004)
百舌鳥・古市古墳群	(2019)
飛鳥・藤原の宮都	(2026.7.26)

七つの世界文化遺産をはじめ、
日本遺産、歴史街道など、世界
に誇る日本独自の歴史文化資源
を、東京、そして、世界に発信！！

⇒日本を知るための広域観光
が地方の魅力創造へ！！

⇒その為の関西外郭環状道路
のミッシングリング解消を！！



○世界遺産登録を活かした “明日香まると博物館づくり”をめざして（その1）

I. 「飛鳥・藤原の宮都」歴史展示の充実

- ・飛鳥の歴史文化ステーション〔万葉文化館の改修など〕 **【2026～】**
- ・世界遺産版「バーチャル飛鳥京」「トフトリDX」の構築 **【2026～】**
- ・飛鳥の宮都ガイダンス施設〔旧役場〕／宮跡、京跡苑池など **【2030～】**
- ・飛鳥の古墳ガイダンス施設〔高松塚〕／高松塚古墳壁画など **【2030～】**

II. 交通体系の見直し

- ・6遺跡をめぐる「グリーンスローモビリティ」の運行開始 **【2026.5～】**
- ・駐車場予約制度導入検討 **【2026】**

III. 新たな構想、組織づくり

- ・飛鳥DMOの立上げ **【2026】**
- ・飛鳥フランドの醸成 **【2026】**
- ・西明日香エリアの基本構想策定



○世界遺産登録を活かした “明日香まるごと博物館づくり”をめざして(その2)

2025.3～「飛鳥のミライズ」開催
民間有志の勉強会、自由に組んで事業化

IV. にぎわいの街づくりの展開

- ・ 飛鳥宮跡周辺地区／宿泊、食事、土産、展示、劇場など施設 + イベント
 - ・ 歴史文化ステーションVS集落に「にぎわい」づくり
- ・ 飛鳥駅前周辺地区／案内、乗換、駐車、買い物
 - ・ 飛鳥のゲートウェイ“道の駅 飛鳥”の機能強化
- ・ 閑散期のにぎわい／（冬、夏）（夜・朝）
 - ・ 伎楽プロジェクト【2025～】
 - ・ たまゆら夜市【2025～】、飛鳥ハーフマラソン



V. まるごと博物館づくりとの展開

- ・ 明日香の美しい竹林の復活
 - ・ 史跡周辺の竹林整備【2024～】、
真竹林の整備・管理【2026～】
- ・ 里山林の再生、里山の村づくり
 - ・ クヌギ林の整備と菊炭づくり【2026～】





劇団 時空



明日香村を体感、新たな感動！



和太鼓 傳

ご清聴ありがとうございました。



光の回廊/岡寺

(2025. 11～)

たまゆら夜市



ナイトツアー



フロガイドツアー

石舞台ライトアップ

